

八王子水のまちニュース



増刊号

八王子市水循環部
水環境整備課

042-620-7291 (直通)
042-626-3019 (FAX)

ガサガサ探検隊隊長の中本賢さんが八王子市教育長と対談を行いました！

みなさん、『ガサガサ』を知っていますか？ガサガサは、川の中で茂みや石の下をガサガサと探り、魚や水生昆虫などを採取する体験です。八王子では夏に『八王子浅川ガサガサ探検隊』という川遊びイベントを開催しており、毎年100名を超える市民が参加しています。そのガサガサ探検隊の隊長を務めるのが俳優の**中本賢**さんです。

この度、中本さんの20年にわたる活動の成果と、そこから見えてくる、まちづくりや教育への展開についての想いを伝えるために、八王子市教育長と市議会議員のお2人と対談を実施しました。本紙ではその内容を紹介いたします。



ガサガサ探検隊隊長
中本 賢



「釣りバカ日誌」などの映画やドラマ等に多数出演する俳優。長年ガサガサ探検隊の隊長を務め、八王子の子ども達に川の楽しさを教えている。

八王子市教育長
安間 英潮



令和3年(2021年)より教育長に就任。教員出身。八王子市にも川の博物館を作りたいとの想いを持つ。

八王子市議会議員
福安 徹



自民党新政会6期。都市環境委員会に所属し、まちづくり分野で活動する。川や自然遊びに造詣が深い。



令和5年度八王子浅川ガサガサ探検隊の開催風景

浅川はすごい川

中本： 浅川はすごい川なんですよ。50万人以上の人々が住む都市に流れる川でありながらめちゃくちゃキレイで、絶滅危惧種や貴重な生き物がたくさん棲んでいる。でも、残念ながら八王子市民はそのことを知らない人が多いと思う。

福安： 市民の皆様も浅川のこと、わりと知らないですよ。そこで、私は市役所1階のロビーに水槽を設置して、浅川の魚を展示するよう要望したんですよ。非常に好評で、市役所を訪れる人たちが水槽を眺めていくようになりました。熱心に水槽見ている人がいると、私は水槽の解説をするんです。

中本： ロビーの水槽はいいですね。今日、市役所来た時の僕は釘付けになりましたよ。絶滅危惧種が入ってましたから。市役所の裏の川で絶滅危惧種が捕れるところが他にあるのか！という話ですよ。

お前のふるさととは世界一だぞ！

中本： でも、私が川に「研究者」を連れて行くと、外来種問題やごみ問題ばかり指摘します。問題しか見ないで、根底にある川の素晴らしさを見ようとしません。そんな暗い問題ばかりを突きつけて、子ども達は川を好きになってくれるのでしょうか。そんなことよりも「お前のふるさととは世界一だ」って伝えるべきだと思っています。

多摩川は劇的な環境改善によって、生き物が戻ってきました。でも、多摩川の再生は浅川が作ったんですよ。何もいなくなった多摩川に、浅川が生き物を供給したんです。ここから生き物が広がっていく、すごいところなんです。

教育長： そういう内容をぜひ子ども達に伝えてあげたいね。

福安： 中本さんの活動について一番ありがたいと感じているのは、子どもが「川に入ってもいいんだ」と知る機会を与えてく

れることなんです。そして、ライフジャケットの重要性を中本さんが説明してくれて、いざ溺れたときの対処方法も教えてくれる。この安全レクチャーによってどれだけ川の事故が防げていることか。それに、親にもライフジャケットの必要性が伝わりますしね。そして親子そろって川で遊ぶようになる。

中本： ガサガサ体験イベントって、子どもを対象にしているようでいて、本当の狙いは親なんです。ガサガサ体験をやった日はきっと「今日はすごい魚が捕れたな」なんて言って夕食の話題になる。そして、「今度は家族で川に行こうか」という流れになる。川でゴミ拾いや外来種駆除だけをやっていたのではこうはならないですよ。楽しい「遊び」だからできることなんです。そして、浅川は価値があるところなんだって気づかせるためには親が必要なんです。



熱を込めて語る中本隊長

福安： 中本さんが言うように、川遊びが夕飯の話題になるって素敵だなんて思います。私は、どの橋を渡っても、いつも誰かが川で遊んでいる姿が見えるような、そんな街に八王子がなればいいなと思っていますよ。

中本： 今は前段階だと思っています。川

で事故が起っても「誰の責任だ」とならない時代の前段階です。教育委員会とか議会が事故の責任取れとか言ってるようじゃいけないですよ。「浅川で魚獲りするのは当たり前だろ」って考えが全市民に根付くといいですね。



和やかな対談風景

川遊びと教育

中本： これからの時代、23区や海外から人を呼びこまなくてはいけない。でも八王子の外の人が魅力を感じる部分って、企業やマンションじゃないんですよ。「水と共生している環境」そのものが八王子の一番の魅力なんです。少なくとも10年後20年後はこれがメインになってくるはずですよ。そして、八王子の魅力を水で伝えるためには、八王子の魅力を知る市民が必要です。それには教育と政治が必要になるんです。

教育長： そうですよ。教育にできることがあるはずですよ。

中本： さらに言いますと、今の子ども達は自分の考えで動くという経験をほとんどしないんですよ。ところが、ガサガサ体験をやりと、自分で魚を捕りたくてしょうがないものだから「どうやったら捕れるん

だろう」と一生懸命考えだす。やっぱり、そもそもが「遊び」なので、子ども達は楽しくてしょうがないんです。そして、教員の性ともいいですか、子どもがうわーって楽しくなると先生もうれしくなっちゃうんです。最初はカエルが持てなかった先生も頑張って持つようになってる。子どもの笑顔って周りの大人達みんなを変えてしまうんです。僕が教育委員をやっていた川崎市では、学級づくり・職員室づくりのためにガサガサ体験をやってるんです。

教育長： 中本さんの話を聞いていて、その話をそのまま教員たちに聞かせてあげたいと思いました。ぜひ、本市の自然を教材とした環境教育にご尽力いただけることを望みます。浅川のすばらしさを子ども達や教員たちにも体験してもらいたいと強く思います。

中本： やりますよ！コロナの影響で仕事少ないから時間ありますし笑。

教育長： 多摩川の上流から東京湾までを記録したビデオがあるんですけど、私は子ども達にそれを見せたくてしょうがないんです。そしてやっぱり子ども達に川遊びをさせてあげたい。川遊びする時の安全だったりとかを、なんとか子ども達に伝えられないものかなとずっと思っていたので、中本さんにご協力いただきたい。

中本： もちろんです。ちなみに多摩川のビデオは僕の仲間が作っています。

教育長： そうだったんですか！



対談を終えて

今回の対談を経て、中本賢さんを講師とした小学校の授業が正式に行われることとなりました。記念すべき第1校目として、八王子市立宮上小学校では2日間の日程でガサガサ体験を含む川の環境学習が実施されました。川遊びをしたことがない子ども達がほとんどでしたが、中本さんの指導の下、全身で川を楽しんでいました。

来年度以降も、学校を対象にしたガサガサ体験が継続される予定です。中本隊長、よろしくお祈りします！！



担任の先生と記念撮影